

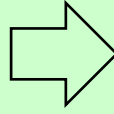
農業用水の安定供給による経営規模の拡大と施設栽培への転換

経営体の概要

事業実施前

基幹作物：(露地)ピーマン、インゲン

経営面積：20a



事業実施後

基幹作物：(施設)ピーマン

経営面積：120a

取組の経緯と経営転換のポイント等

本経営体は、昭和52年に就農し、露地でピーマンとインゲンを栽培していた。事業後は、農業用水の確保にかかる労働時間が大幅に縮減されたことから経営規模を拡大（6倍増加）するとともに、安定した栽培と経営を図るため、補助事業によりパイプハウスを導入し、ピーマンの露地栽培からより収益性の高い施設栽培に転換を図っている。

事業前のピーマンの定植は年1回であったが、事業後は適時散水により年3回の定植が可能となり、長期収穫と収益性が向上している。

営農改善のポイント

①規模拡大

事業前は、湧水池から2tトラックで1日かけて農業用水を運搬し、簡易ポンプで散水していたが、事業後は給水栓から必要な時期にかん水が可能となり、かん水にかかる労働時間が大幅に縮減されたことから、経営規模を拡大することが可能（経営面積は6倍増加）となった。また、補助事業によりパイプハウスを導入し、ピーマンの露地栽培から施設栽培に転換を図っている。

②単収の向上

天候に左右されない安定したかん水と肥培管理により、収穫回数が10日間に1回から7日間に2回になっており、10a当たりの収量も約2倍（6t→10t）に増加している。

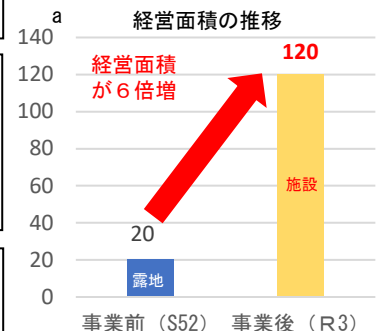
③栽培技術の向上

散水施設（チューブ）を利用し、液肥と混合してかん水することで、散布作業の省力化を行っている。

また、減農薬の栽培にも取り組んでおり、県品評会において、農林水産大臣省を受賞するなど高い評価を得ている。今後は、天敵防除を実践し、有機栽培に取り組む予定である。



ハウスの設置状況



ピーマンの栽培状況

(ピーマンは高温多湿を好むため湿度調整のためミスト散水を実施)

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業

関係市町：糸満市、八重瀬町

受益面積：1,352ha

事業期間：平成4年度～平成17年度

事業目的：畑地かんがい

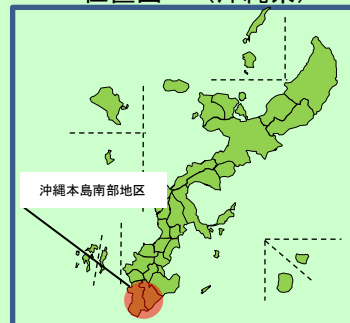
主要工事：地下ダム2箇所（総貯水量385万 m^3 ）

ファームポンド 3箇所

揚水機場 2箇所

用水路 42km

位置図（沖縄県）



<局問い合わせ先>

沖縄総合事務局

農村振興課

電話：098-866-1652

(令和3年調査時点)